

クラスター	病理・病態系クラスター			
授業科目名	東洋医学・実習			
担当者名	責任者	中永 士師明	分担者	田中 秀則
単位数	1単位(選択)		配当年次	1, 2年次
授業形態	Webclass (オンデマンド)		実施場所	授業計画の[実施場所]を参照
開講期間	2024年12月～2025年3月 / 科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します			
開講曜日・時間	科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します			

授業の概要・到達目標

授業の目的: 東洋医学について理解することを目的とする。

授業の到達目標: 主な漢方薬の適応, 薬理作用を説明できる。また, 鍼灸を習得し, 実践できることを目標とする。

授業の概要:

西洋医学は病気, 病態を診断し, 異常部分を治療する医学である。一方, 東洋医学は治療学に重点をおいており, 個人の体質・特徴を重視し, しかも心と身体は一体であるとする「心身一如」を前提に身体全体の調和を図る全人的医療を目指している。

したがって, 東洋医学において各疾患の病態解析は, 治療戦略や方策を組み立てるために体系化されている。この二つの異なった医学大系を駆使して全体から診療を行えば, さらに詳細に病態を把握することができるようになり, 全人的医療の実践が進むであろう。

授業計画

	講義 (講義内容)	担当教員	講座名 〔実施場所〕
1	東洋医学の理論と診断方法	中永 士師明	救急・集中治療医学 〔オンライン〕
2	鍼灸治療の理論と実践		
3	生薬の概要		
4	急性期領域の漢方	中永 士師明	救急・集中治療医学 〔オンライン〕
5	漢方薬の副作用		
6	精神科領域の漢方		
7	漢方の基礎研究	入江康仁 (非常勤)	(聖隷横浜病院) 〔オンライン〕
8	漢方の臨床研究		
9	小児科領域の漢方	田中 秀則 (非常勤)	(御野場たなか レディースクリニック) 〔オンライン〕
10	産婦人科領域の漢方		

授業形態および成績の評価方法・基準

評価は出席状況と提出したレポートの内容を考慮して行う。

問い合わせ先(氏名, メールアドレス等)

中永 士師明, nakaeh@doc.med.akita-u.ac.jp

その他特記事項

履修に関する情報: 社会人大学院生など, 勤務等で実習に出席できない場合には日程の調整に応じます。

資料: WebClassから各自ダウンロードしてください。

教科書・参考文献: 急性期漢方マニュアル

自学自習時間における学習内容: 到達目標や授業内容に応じた準備学習を行うことが望ましい。